令和４年度　中央区立久松小学校　外部評価報告書

評価委員：前田委員、関口委員、植田委員、五味委員、福田委員、酒井委員
川名委員、川口委員、村上委員、及川委員
報告書作成者：副校長　藤山　由仁

評価時期　　令和５年２月

１　重点目標の評価

重点目標１について　　「年間を通した教育課程の充実」
～教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメントの充実～

〇幼稚園の移転について不安がある。準備が大変だと思うが頑張って欲しい。特に幼小連携では、できることを精査しながら進めていくことが必要である。
→今年度行った久松フェスティバルのように、一年に１回は幼小連携できるものを検討する。
〇学校評価のアンケートでは、コロナ禍での頑張った結果が出ている。
〇ICTを活用しながら、保護者にはメールやアプリ等で連絡を伝えているが、地域や祖父母へはどのように伝えるとよいか、より理解してもらえるように考えていくとよい。
→より一層のホームページの充実、地域への学校公開の開催の工夫などを行う予定である。

重点目標２について　　「豊かな心と健やかな体の育成」
～知・徳・体のバランスと調和を重視～　自立・協働・創造

〇「教育委員と語る会」で不登校での理由が「つまらない」というものだったので、学校を魅力ある場にし、行きたいと思えるようにしていく。
→学校でなければできないことをしっかりと考え、児童の主体的な学びを保障していく。
〇児童館が悩み相談の場になっていることがあるので、その役割を請け負っていきたい。学校・家庭以外でも、誰かに悩みを話せるということが大切である。
〇　登下校のマナーが気になる。学校の指導はもちろんのこと、親の役割も非常に重要であると考える。
〇　いじめや虐待などは見逃さないでほしい。
〇　先生方は運動量確保のためにいろいろ思案してくださっているが、やはり運動をなかなか行えてないというのは今後の課題であると思う。

２　今後の改善に向けた意見

〇周年行事が大変すばらしかった。コロナ禍の中、工夫しながら進めてもらい、感謝している。
〇人数増になるので、混雑を避けるためにも水道の数を増やしていけるとよい。もしこれから設置する場合には、衛生上レバー式の蛇口だとよい。
→来年度大規模改修の設計を行う予定だが、その中で意見として施設課の方へ要望していく。
〇　ＰＴＡの保護者の参画をどのようにしていくかが大事であると考える。
〇　交通ルールを無視している保護者がいる。学校からもルールを守れるよう指導をしてもらえるとよい。